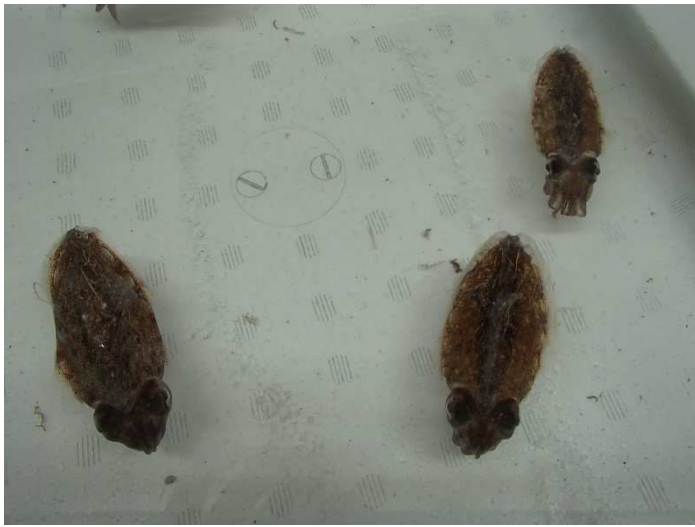


12月にこんな小さなコウイカがいる？ (ヒメコウイカ)

コウイカは、「はりいか」と呼ばれ、重要な水産物です。2019年12月、庵治漁協から、この時期にしては異常に小さなコウイカ？が獲れたということで、種の確認依頼を受けました。

体型や色はコウイカと似ており、コウイカ同様に胴の先からは針状の突起が出ていました。胴の長さ(外套長)が5cm程度しかなく、コウイカなら8~9月頃の大きさと思われます。



図鑑で確認したところ、コウイカとは別種であるヒメコウイカと同定されました。

外套長が7cmまでの小型の種で、日本各地から東南アジアにかけて分布しています。コウイカに比べると体型が細めで、貝殻(いわゆる「舟」)の形も違います。コウイカに似た小型の種は、他にもいくつかあります。これまで網に入っても特に気にされていなかったのかもしれないし、今期は例年より多く、目につきやすかったのかもしれませんが。

コウイカの生態が大きく変化したということではないので、ひとまずは安心したところです。

【参考資料】

世界イカ類図鑑 29 ページ

平成17年10月25日 初版発行

著者：奥谷 喬司

発行者：全国いか加工業協同組合

発売所：株式会社 成山堂書店

(文責 安部昌明)